

体験する喜び「見て、触れて、感じる」

校長 市川 典秀

「吉永第一小学校の子供は、よく挨拶できますね。」

先日、学校の樹木の剪定、伐採にお見えになった業者の方から、このようなお言葉をいただきました。以前から市にお願いしてあった大掛かりな選定作業が行われ、数日間にわたり業者の方が学校にいらっしゃいました。その中で、このような言葉をいただくことができました。実際には、作業をしてくださっている方に、「こんにちは。」「ありがとうございます。」という挨拶をしていたそうです。以前から、学校だよりでお知らせしているように、本年度の学校重点目標は「とどけるあいさつ やさしいことば」です。この目標に向かい、4月から全校で指導を重ねてきました。校内で、職員や友達に対する挨拶は少しずつできるようになってきていると思いますが、校外で見える子供の挨拶は、もう少しと感じているため、外部の方からこのようなお言葉をいただけたのはうれしいことでした。今後も、引き続いて「あいさつ やさしいことば」が届けられる子供たちを育てていけるように職員で力を合わせていきたいと思ひます。

さて、学校では、新型コロナ感染防止対策に留意しながら、できることを再開してきています。その中で、学年ごと体験的な活動(見学)も行い始めることができています。

1年生は、生活科の学習で「動物と仲良しになろう」というねらいから、日本平動物園に行ってきました。子供たちが10人ほどの小グループに分かれ、園内を見学しました。私も引率として参加しましたが、子供たちの事前学習が生きていて、「次は草食動物コーナーだよ。」というようにどんどん案内してくれました。

2年生は、生活科の学習で「吉永地区」の学習を進めています。まちづくりセンター、図書館、パン屋さんなどに実際に出掛けたり、岳南電車の方に学校に来ていただいてお話を聞いたりしました。自分たちが住んでいる地区ってすばらしいところだと思ひを持ってくればよいと思ひます。

3年生は、国語科の学習で地域に出掛け「絵文字」を見付けました。また、吉永分署の消防車に来てもらい、社会科の消防の勉強も進めました。今後、一度延期した富士市役所の見学を行う予定で計画しています。

4年生は、社会科の学習で、新しくなった環境クリーンセンターと東部浄化センターの見学に出掛けました。ごみ処理が行われている施設のきれいさに驚いていた子供が多かったです。あまり目にする事のない下水道の水が、きれいになって自然に戻されることも興味深く聞いていました。さすがSDGsについて総合で学習している子供たちだと思ひました。

5年生は、コロナの関係で工場見学ができなかったのですが、社会科の進捗の関係で学習をすすめるなくてはならず、エリエールペーパーの会社の方とオンランでお話をさせていただきました。12月に静岡市方面に防災の学習に出掛ける予定です。

6年生は11月19日、20日と山梨方面に修学旅行に行ってきました。コロナ禍であり、気を付けなければならないことが多い中、6年部を中心に細かいところまで考え、しっかり打ち合わせを行ってきました。子供たちはそれぞれの見学地で、楽しそうに活動していました。施設の方や見学地で会う方にもしっかりと挨拶をする姿も見られ、目的をもった旅行であることが分かりました。昨年、みどりの学校で宿泊できなかった6年生の子供たちには、何としても宿泊の経験をさせてあげたかったので、それが叶えられてほっとしています。

それぞれの学年が、内容の濃い体験学習等を行うことができました。

